

青年社会体験

2月14日(火)
小島新開の家障害者デイ

in 中国新聞印刷工場「ちゅーピーパーク」

昨年、小島新開では新プログラムとして「青年社会体験」という活動を取り込みました。これは普段、体験することのないことを経験したり、奉仕活動で栄公園のゴミ拾いなどをしてきました。

今回は趣向を変え、私たちは大野のチチヤスにある中国新聞印刷工場に行ってきました。紙すきを体験させてもらい、「新聞配達ゲーム」なるもので自転車をこぎました。実際に新聞工場を間近で見て、そのスケールの大きさや、機械の可動のスゴさに驚きました。

最後に記念として自分たちが新聞の記事に載る新聞制作をしました。「何か新しいことにチャレンジしてみる」ということはとても新鮮だったのではないのでしょうか。

この春にでも、もう一度このような体験を考えています。実りのある体験になるよう計画したいと思っています。(柴田 涼)



「紙すき」を体験された貞村さん。ピンセットの使い方など、とても繊細な手つきで葉書を制作されました。

毎年恒例行事

「なごみ工房」

小島新開の家高齢者デイ

高齢者デイでは2月に入り、「なごみ工房」で、ひな祭りのパネル作りをしました。利用者さんと職員と力を合わせて完成させたパネルから、お顔を覗いていただき、利用者さんたちにお内裏様とお雛様ペアになってもらい、写真撮影をさせていただきました。そこで私が今回テーマにしたいことは、その中でどれだけの笑顔が出ていたかということです。

昔から「笑う門には福来たる」と云いますが「笑い」は自分の気持ちを癒してくれるばかりか周りの人たちも和ませてくれます。「笑い」が体内の免疫力を高めることが科学的にも証明されてきています。

では笑うことはどのように良いのでしょうか？まず脳を刺激し血流量が増加し認知症予防につながります。次に免疫力が高まりストレスを解消させ細胞や血管を若々しくします。

小島新開の利用者さんが来られたら、まず職員が笑ってお迎えしデイに来て楽しい気持ちになり和みある場所にしていきたいと思ひます。その為にはおもしろい企画など考えて、ますます皆様の笑顔が見られるよう努力していきたいと思ひます。(山ノ内 和子)



登利武人さんと 大谷厚子さん。素敵です